

雪解けの歌

晏田やすだ
四方よも

「とある冬の日」

チャイム鳴り 小春日和と 知ったころ

寒雀かんすずめ ここが寄る辺と 誘う手

乳飲み子の 憂いをいやす 帰り花

クリスマス ラップトップで 暖を取る

夜が来て 糸編もうと する心

逃げ出した 後ろ姿を 追いかけて
霜焼け撫でる 君の愛しげ

「春、こい」

通り道 春めくスカート丈を追う

君を見る 僕が抱える シクラメン

どうしよう 花盗人は 僕だった

春雨や 流るる中にも 残るのは
いとしいとしと いう心だけ

数えれば 数えるほどに 悩ましい

羊の毛刈る 君を誘う